



武市 智子さん
(信楽町長)

まちの魅力を伝えて残したい

地元信楽のまちの魅力を発信するために発足したグループ「信楽GIP」でいろんな活動を展開されている武市智子さん。「信楽には地元のことを熱く語る人が多い。そういった人たちが、地域の活性化につながる事ができれば」と、2年前の3月、武市さんが経営される飲食店のお客さんらとともに同グループを発足されました。グループの活動の一つ、地域のコミュニティづくりを目的に始まった手づくり市場「げなげな市」は大好評、月1回の開催日には多くの人を訪れ、まちの活性化に着実に効果が出てきているようです。

武市さんの以前からの構想は、定期観光バスの実現。他県でバスガイドの経験もある武市さんは、「地元が発信して地元がガイドすることにより、いろんなところ、細かい魅力を知ってもらえることが定期観光バスの素晴らしい。」と実現に向けてモニターツアーなどを実施されてきました。中には失敗に終わった企画もあるそうですが、「やる前にいろいろ考えても100%のことはできません。何でもやってみないと分からない部分がありますから。」と常に前向きに取り組まれています。

「信楽は、つくられた観光地ではなく、受け継がれてきた歴史、文化、産業などがそのまま残っています。これらは真似できない、買えない、持ってこれないものです。そういうものを大切にしていき、そしてみんなに知ってもらいたいです。」と武市さん。

これからももっとまちの魅力を発信し、そして地域に貢献できる企業をめざしたいという武市さんの活動は続きます。



▲多くの人を訪れるげなげな市

体育館に響くオペラの歌声

～本物の舞台芸術体験・朝宮小学校～

朝宮小学校に、10月13日、声楽芸術団体「関西二期会」が来校、合唱公演が行われました。関西二期会は、40年の歴史がある西日本最大の声楽家団体の、オペラ公演や舞台などで世界的に活躍されています。この日は、体育館に同校と多羅尾小学校児童、地域の方が集まり、本場の芸術を楽しみました。世界で活躍される本物のオペラは迫力満点、児童らは会場に響き渡る歌声に聴き入りました。



▲関西二期会と共演する朝宮小、多羅尾小の児童

秋空の下、タスキつなぐ

～10時間&5時間耐久リレーマラソン大会～

10時間(5時間)の間にリレー形式で走った距離を競う、くすりの町甲賀10時間&5時間耐久リレーマラソン大会が、甲賀クラウンドを発着点に甲賀中央公園周回コースで行われました。25回目の開催を迎えた今年は、ゲストラランナーとしてアテネオリンピック男子マラソン代表の国近友昭さんを迎え、全国各地から261チーム、1,540人が参加、爽やかな秋空の下、走りを楽しみました。家族や友達とマイペースで楽しく走るチーム、仮装をして走るチーム、上位をめざして力走するチームなど、多彩なチームが沿道の声援を受けながら走り抜きました。



▲チーム全員で喜びのゴール

行楽シーズン到来、気持ちよく散策を

～水口ライオンズクラブ清掃奉仕活動～

水口地域東北部に位置する古城山。甲賀市街はもちろん、鈴鹿の山並みから遠くは伊吹山までを望むことができ、秋には散策に多くの人が訪れます。本格的な行楽シーズンを迎えた10月7日、水口ライオンズクラブの皆さんにより、古城山の清掃作業が行われました。

この日は、時折強い雨風が伴う悪条件での作業となりましたが、手際よい作業で散策道や広場の草が取り除かれ、秋を満喫できる美しいハイキングコースとなりました。また、同クラブからは9月に、市内小中学校に図書を寄贈いただきました。



▲古城山内の道路を掃除する参加者の皆さん

盲導犬とともに 東海道をウォーク

～東海道五十三次 盲導犬使用者ウォークリレー～

京都から東京までの東海道五十三次を、盲導犬使用者が歩く「東海道五十三次盲導犬使用者ウォークリレー」が行われ、10月9日、10日市内を訪れました。このウォークリレーは、全日本盲導犬使用者の会発足15周年を記念して行われたもので、同月2日に京都市の三条大橋を出発しました。9日には、市役所水口庁舎で出発式が行われ、市内ウォーキングがスタート。途中、水口幼稚園や水口高校で園児や生徒とふれあひながら、ウォーキングを行いました。

また、同クラブからは9月に、市内小中学校に図書を寄贈いただきました。このウォークリレーは、今月23日に東京日本橋に到着される予定です。イベントが行われ、地域の方ら多数の参加者が集まりました。参加した人は、普段なかなか見ることがない盲導犬とのふれあひを楽しみました。



▲市役所を出発する盲導犬使用者の皆さん

信楽焼を求め 多くの人出で賑わう

信楽陶器まつり

焼き物の産地 信楽で、恒例の陶都 信楽まつり2009「信楽陶器まつり」が10月10日から12日までの3日間開催されました。

期間中は、信楽焼が普段より安く購入できる即売会場や信楽焼の新作陶器が発表される「信楽陶器総合展」会場などが多くの人出で賑わいました。特に今年は秋晴れの好天にも恵まれたことや高速道路の休日割引などの効果もあり、例年以上に遠方からも多くの方が来られていたようです。

なお、県立陶芸の森で開催の新作陶器の発表展「信楽陶器総合展」は、11月15日(日)まで開催されます。



▲陶芸の森の「信楽陶器総合展」



▲多くの人を訪れた即売会場